

造園 いばらき

題字：橋本 昌 茨城県知事



多くの参加者が集まり、体験実習なども行われた「ロープワークによる樹木剪定」講習会の様子（笠松運動公園）

おもな内容

樹木診断と回復策について 県北支部 青年部会が研修会を開催	… 2
ロープワークによる樹木剪定を学ぶ 技能士会と共催で講習会を実施	… 5
街路樹剪定作業を体験 監督業務と植物管理研修会を開催	… 7
茨城県造園業協同組合の紹介 指定管理者として活躍中	… 9
新春賀詞交歓会を開催 積極的取り組み進める	…10
偕楽園・弘道館を視察 県北支部 青年部会 視察研修を実施	…11
社会還元事業 県西支部で実施 桜川市の「上の原学園」で高木などを剪定	…13
春季都市緑化祭開催へ 岩重点実施公園は砂沼広域公園と鹿島灘海浜公園	…14
「造園CPD」 ガイドブックと単位表を改訂 この時期に造園CPDに参加しよう	…15

Vol. **37**

2009年(平成21年)
3月31日発行



社団法人 茨城県造園建設業協会

〒310-0804 水戸市白梅 2-4-6 Tel.029-226-5691 Fax.029-226-5692

E-mail ibazouky@topaz.ocn.ne.jp Http://www.ibarakiken.or.jp/ibazoukyo/

樹木診断と回復策について

茨造協 県北支部 青年部会が研修会を開催

茨造協県北支部青年部会は1月31日(土)、「樹木診断と回復策について」の研修会を行った。

研修会は、当初、水戸市常磐町の常磐神社の協力で、境内にあるシダレザクラをはじめ、偕楽園周辺の樹木を見ながら、樹木診断を行う予定だったが、あいにくの雨のため、造園会館での実施となった。

造園CPD認定第2弾

研修会は、県北支部青年部会で実施する造園CPD(15頁参照)認定の第2回目の講習で、51人が参加した。

講師は、日本樹木医会茨城県支部長、(株)千本杉代表取締役社長の中村澄夫氏で、豊富な知識と実体験を踏まえての貴重なお話を伺った。

中村氏は、「本来はフィールドで皆さんとやりたかったがあいにくの天気で、座学となってしまった。しかし、ビデオなども使った話もできるので、参考にしていただき、今後の業務に役立て、健全なみどりの保全・創出に役立てていただきたい」と述べた。

継続・日常的な保全が不可欠

講演では、常磐神社のシダレザクラを対象に選んだのは、たまたま偕楽園を訪れた際に神社を覗いてみると、15年前に治療を行い、その後枝葉が出て元気になったが、このところ樹勢がまた少し衰えたかなと感じ、気になったことから、このシダレザクラをはじめ、ソメイヨシノが何本もあり、衰退が心配されるの

で、現地で講習ができればと考えたと、フィールドの重要性も示唆。

シダレザクラについては、神社側で昨年土壌改良が行われているとのことで、再び元気になってくれることが望まれるが、このことから継続的、日常的な保全が欠かせない。

安全にも関わる樹木の健全性

私たちが整備、管理などを行っている公園において、植物が果たす役割は大きく、潤いのある美しい空間には樹木が重要な役割を果たしており、健全な状態を保つことは、景観の面だけでなく、安全にも大きく関わってくる。

万が一、枯れた枝が落ちて人などに当たったり、樹木が倒伏した場合は大事故につながりかねず、日々の観察が欠かせない。また、こうした樹木の育生管理は、私たち造園に関わるものの本来的な業務であり、日頃から、公園を構成する植物を一つ一つ丹念にみるのが大切だ。

その後、中村氏は、(財)日本緑化センターの「樹木医」「グリーンエージ」などの資料を用い、『診断カルテ』に基づき、実際に現場で、カルテの項目に沿って必要な診断を行うことで、もれなく診断することができるとし、また、樹木の名前については、和名だと地域によってかなり違いがあるので、できれば学名で書いておく間違いのないなどの留意事項を示しながら、記念樹指定の有無、所在地、管理者、調査年月日、さらに周辺の樹木も互いに影響しあうので記載しておく必要があるなどと解説した。

まず全体を捉え、地上・地下部を診断

樹木の健全度把握はまず、全体、外観的なものを捉え、その後部分的にみた方が良しとし、地上部9項、地下部8項における診断ポイントを示し、これらを5段階で評価。最後に、合計した数値を各々の調査項目の数の9、8で割ると、地上部、地下部のおおよその

常磐神社のシダレザクラ



状態がわかる。

樹木全体に影響を与える病虫害や腐朽、そして、キノコの発生などがあるかないか、枝や幹の分かれ目の状態を注視し、枝や幹の分かれ目については、入り皮の有無、幹の結合などを確認する。そして、入り皮の場合は、力学的な強度が余り無く、折れる可能性もあるので注意が必要とした。

また、幹の欠損、腐朽も重要で、キノコが出るのは中が腐っており、かなり傷んでいることが多く、表に傷が無くても、中が傷んでいる場合もあり、普通は打診で分かる場合が多いが、外皮が厚いスギなどでは分かりにくく、専門的な調査器具を使用する場合もある。

簡便な診断の器具としては、「鋼棒」「木槌」「検土杖」を挙げ、根元に不安を感じたときには、鋼棒を差ししてみると、表面上では分からなくても、木材腐朽菌のベッコウタケの香りがしたり、棒を回転させるとキュキュッと違った音がすることがある。「木槌」は少し重い方が、反応が分かり易いように思う。

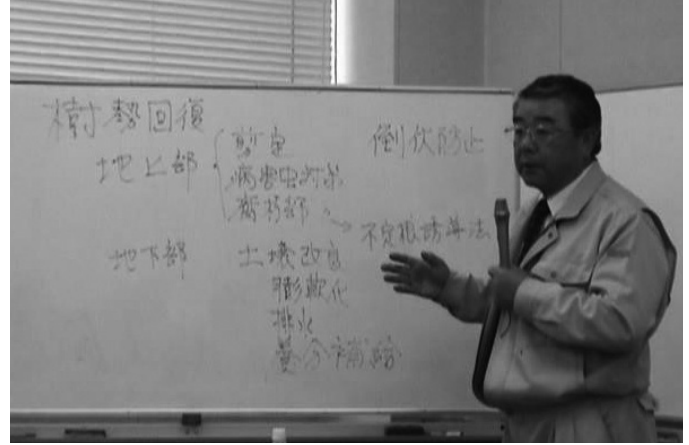
土壌の状態を知ること重要

さらに、樹木にとって土壌は極めて重要で、この調査には土壌断面調査が必要であるが、「検土杖」は、土壌を簡易に調べることができるもので、垂直に土に差し込むことで、30センチぐらいの土層を棒状に抽出でき、土の状態を調べることができる。

手で差し込むものだが、人の力で入らないくらいの硬さだと、根も張れないので問題となる。これにより樹木に必要な有効土層や、排水性の状況の検討もつく。排水が悪い土壌のところに、元気が無いのは養分が足りないからと、有機肥料を多量に入れたりすると、却って酸素不足になってしまったりするので注意が必要。こうした際にも判断材料として土壌を調べることは大切などと語った。

その後、研修では、ビデオを視聴し、倒木危険度判定の重要性や樹勢衰退状況の調査、回復方法の検討などについて説明。

そして、樹勢の衰退には、踏圧や強剪定が原因となる場合もあり、外観調査や精密調査を行う必要があるが、樹木の根元で行われる工事が腐朽を生じさせて深刻な被害につながる場合も多いとした。



講演する中村澄夫氏

樹木やキノコの特性について

また、樹木の特性について知っておくことも重要で、斜面地などに生育する樹木の場合、針葉樹と広葉樹では「あて材」のでき方が異なる。針葉樹は突っ張るように下側組織が生長して支え、広葉樹は引っ張るように上側組織が生長して支える構造になっており、それぞれの特性を確認することが大切。また、心材の60%以上が腐ったり、欠損しているものは倒伏の可能性が高い。

樹木への子実体（キノコ）の発生は、腐朽状況の目安になり、この中で腐生菌（ふせいきん）は、腐ったところだけに生育するもので、シイタケなどがあり、寄生菌（きせいきん）には、絶対的と条件的があり、木が生きていないと菌も生きていけないものと、生きている樹木に入って枯らしてしまうベッコウタケ、ナラタケなどがあり、こちらが樹木にとって怖いもの。

樹木は、外皮、形成層、辺材、心材（木質化）で構成されるが、健全な樹木は、生長するので、樹皮が生き生きしているのも、よく見るとわかる。

樹木は主にセルロースとリグニンで作られているが、鉄筋コンクリートに例えると、鉄筋の部分がセルロースで、リグニンがコンクリートと言える。リグニンを分解するのが褐色腐朽菌で、両方を分解するのが白色腐朽菌である。キノコの種類によって、どの部分に腐朽が進んでいるかを把握できる。

幹断面の3分2が腐朽している場合は、倒伏の危険性があり、外側の3分1が腐朽している場合は、倒伏のほか、樹木の生命体としても危険な状況にあるとした。

樹勢回復は原因の除去が第一

こうした調査の後の対応は、樹木の位置づけによっ

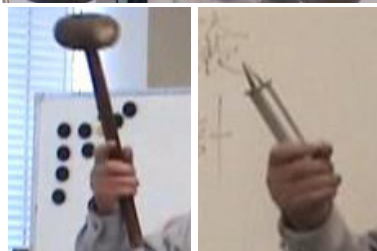
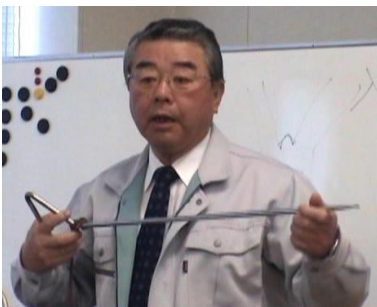


て異なってくると思う。残す方法としては、樹勢回復があり、樹木を弱らせている原因を取り除くことが第一で、水分過剰のために根腐れなどを起こし、弱っている状態の時に、病害虫が入り込んだりすると一層衰退が進む。

さらに、土壌は重要で、指先にべとつくようだと水分過剰、軽く握ってみて、形を保っているくらいが状態がいいと言える。

土壌の硬度を測るには、「山中式土壌硬度計」があり、層ごとに調べるのが望ましいが、健全に育つ値は目盛りが、13 から 18 せいぜい 20 で、慣れると親指でもだいたい判断できる。13 以下だと空気を含み過ぎてしまうので、柔らかければいいというものではない。

腐朽部の処置と充填について



上から「鋼棒」「木槌」「硬度計」「検土杖」について説明する中村氏

文化財指定木等の保全で現状変更などには許可が求められ、簡単に枝を切ることはできず、教育委員会などに回復の計画を申請するなどの手続きが必要だ。

腐朽部については、高圧水で洗浄化したり、殺菌剤を塗ることがあるが、崩壊している部分には殺菌効果は無い。また、空洞を充填するかどうかだが、以前は充填材を詰めることなどがよく行われていたが、むしろ、乾燥状態にしておくことが望ましいので、充填は余りしない方がいい。

樹勢回復には衰退の原因を取り除くことが第一だが、地際に近いところの不定根を地上に誘導する方法もある。これについては、東京の藪会が特に上手く、樹勢回復のビデオなどが参考になる。地上 5 m のところから根を誘導した例もあり、当初は弱々しい感じであるが、一度地中に伸び出すと強くなり、大きな効果がある。

土壌は排水と pH がポイント

そのほか、土壌については、繰り返しになるが排水性が最も重要で、また、踏圧などで固まってしまっている土壌を団粒構造にするなどの土壌改良も必要策である。パーライトや DO パイプが一般的だが、竹を用いた方法も簡便だが効果がある。

土壌の構造は、土の部分と液体の部分と空気の部分のそれぞれの比率は、樹種によっても異なるが、25、45、30% くらいが望ましく、これは物理的なもので、根張りや養分、水分の補給を可能にする基本になる。

また、化学的なものは腐植や養分バランスなどがあるが、改良材のピートモスは便利だが pH を調整した調整ピートを使わないと、酸性が強過ぎて根を焼いてしまう。

このほか、パーライトなどの改良資材もたくさんあり、木炭などは殺菌力も期待できるが、備長炭のようなものは pH 値が高く調整する必要がある、樹木に適した弱酸性が保たれるようにする。

私たちの技術が樹木を守る

このように、樹木の健全性を保つには、地上、地下部の状態を適宜調査することとともに土壌の状態にも配慮し、日常的、継続的に育生管理していくことが欠かせない。樹木は、放っておいていつまでも元気であるものではない。しかし、条件さえ整えてあげられれば長生きできる。

そして、私たちの身近に存在する樹木の健全性を保つことが安全の面からも重要であり、私たちの技術、知識が、こうした樹木の長生き、まちの潤い、美しい景観形成に大きな役割を果たしている。

今後とも、生き生きとした樹木の保全・育生に取り組んでいただきたいと述べた。

ロープワークによる樹木剪定を学ぶ

茨造協 造園技能士会と共催で講習会を実施

茨造協は、3月7日(土)、ひたちなか市の笠松運動公園で、「ロープワークによる樹木剪定」講習会を開催した。

講習会は造園技能士会との共催で、笠松運動公園の協力を得て実施されたもの。講師には、樹木医でもある深沢尚樹氏を迎え、イギリスにおいて古くから伝わる技法「ロープワーク」を利用して、脚立を使わずに樹木に登ったり、物を結束したりするなど、ロープを多用した便利な使い方を学んだ。

ケガを発生させない手法として発展

講習会は冒頭、川上副会長、中庭技術委員長、茨城県技能士会会長・飛田幸男氏が「寒い中だが、貴重な技術になるのでみっちり学んでいただきたい」などと挨拶。日本樹木医会茨城県支部長・中村澄夫氏が、深沢氏を紹介し、陸競技場入り口付近のケヤキで講習を開始した。

深沢氏は、「私が学んだロープを使った木登り技術は、車が入れないところをいかに管理するかといった点であり、木登りだけに突出して発展した訳ではなく、ビルの壁面や大きなパラボラアンテナの清掃、警察の訓練なども含めた安全な技術を共有しようということから体系化され、イギリスでは医療費が無料であるため、安全面に対し非常に厳しく、ケガを発生させない方法として発展してきた。イギリスだけではなく、ヨー

ロッパなどにも広がっている」と、ロープワークの経緯を概説。

地上から樹木に登る際には、スパイクやはしごを使うこともあるが、ある程度の高さの枝にロープをかけられればそれで十分。まず、使用するすべてのロープに傷が無いかをチェックし、ハーネスを着用、樹上に掛けた主ロープに結ばれたプールのジックをハーネス中央の金具に取り付け、使って徐々に上っていく。

ハーネスは、登山用などと異なる専用のもので、左右にDリングという、補助ロープなどをつけられる金具があり、十分なサポート性があるのが特徴。



脚立、梯子などを使わないロープだけを使用した木登り技術により、写真でも分かるように枝の先端にまで行くことができ、2点で支えることで、両手を使った作業が可能



プロフィール 深沢尚樹氏
H8.3 東京農業大学農学部卒業
H9.9 英国マイヤースコフ大学
樹芸学科 HND 課程入学
H10.10 仏国 A terie de larbol 社
にて3カ月間企業研修
H11.4 (株)葉守ツリーメンテナ
ンスサービス設立
H12.5 同大学同課程卒業
H15.12 樹木医認定
H19.5 (株)葉守設立 代表取締役
全国各地で、欧米式木登
りを利用した高所作業（
診断・剪定）を中心に事
業を展開し、現在に至る



開催挨拶
のようす

常にロープとつながっている安全性

プルージックは、樹上に掛けた主ロープに結んで使用する特別な結び方で、力が掛からなければ上下に自由に動き、力が掛かると摩擦力で固定されるもの。このため、プルージックを手で上にずらしながら登っていくことになり、力が掛かる（ぶら下がる）と固定されるので、上り下りの際に取り外す安全帯と異なり、常にロープにつながっている状態にあり、これにより安全が確保される。

そのほか、腕の力ではなく、足の力だけで登ることのできる器具もあり便利だが、器具を付け替えが手間になる場合もあるので、プルージックを基本に登り、さらに上に登る場合は、一旦、補助ロープで樹木に固定し、主ロープを上枝に掛け直して登っていくため、常に1本以上のロープとつながっていることになる。

降りるときも簡単で、プルージックを緩めれば降りられ、プルージックから手を離せば止まるので、自由な位置、スピードで降りることができる。

作業したい場所に行くには、いろいろな方法があるが、樹木の一番高いところに主ロープを掛けると、体を支える点がそこにいくので、目的の枝に直接体重を掛けずに枝先までいくことができる。

樹上での両手を使った作業も可能

作業する際には、主ロープのほかに、補助ロープを固定し、2点で支えると体が安定し、両手での作業も楽にできる。ロープを掛けるときは、自分の手首よりも太い枝にすればほぼ大丈夫。ハーネスでブランコに乗っているような状態になり、安全帯とは違う感覚だ。

これらを行うのに必要なのは、ハーネスと1本の主ロープと短い複数のロープ等で、最小構成では5万円程度で揃えられる。チェーンソーを使うような作業だと、さらに安全性の高いロープなどが必要になり、数十kgから数百kgの枝を吊り下ろす場合は、滑車や特別なロープなどを用いることもある。

そのほか、便利な器具としては「クォーターラップ」がある。重量のある枝を吊り下ろす際に、重さを軽減するために、幹などに巻きつけることもあり、これでは樹木を傷め、微妙な調整ができないが、クォーターラップを用いることで、簡単に摩擦力が調整でき、軽微な力で、安全に重量のある枝を下ろすことができる。

ロープワークでは、登るための安全のシステムと枝を下ろすための安全のシステムがあり、こうした幾つもの安全のシステムを組み合わせることで、多様な作業を安全に行うことができる。例えば、チェーンソーを用いる場合は、万が一の際にも手足を守る防護服を着用することになっている——など、ロープワークによる樹木管理の一端を説明した。

貴重な体験を今後に活かす

その後、研修では、ヒマラヤスギに登っての実演も行われ、研修した参加者は、「貴重な体験ができた。ダブルセイフティ、2重の安全がポイントだと思った」など、これまでとは違った安全確保について、体験に加え、熱心に聴講した。

最後に、飛田技能士会会長、中庭技術委員長が講評。「朝方は寒かったがほかほか陽気になり、有意義なお話を伺い、貴重な体験をすることができた。木に登って剪定することは造園の基本でもあり、安全が第一、今後の業務の参考にしていきたい」と述べた。



④ハーネスの説明⑤重量のある枝を下ろす際などに用いる「クォーターラップ」の説明。筒の部分に巻く回数で、簡単に摩擦力を調整できる

結び方を学ぶ参加者

街路樹剪定実務を体験

監督業務と植物管理研修会に 県と市の若手技術者ら 30 人参加

土浦土木事務所が管内の県・市若手技術者の技術力の向上を目的に毎年実施している「現場実務研修」について、平成 20 年度は「監督業務と植物管理研修会」として 1 月 15 日開催された。

土浦土木事務所で講義が、主要地方道・土浦境線のつくば市西平塚付近で現場研修が行われ、主に道路や公園などを担当している県と市の若手技術者など、約 30 人が参加した。

研修は、土浦土木事務所技佐兼検査監・加茂政一郎氏の挨拶に次いで、同事務所検査監・土谷俊雄氏が「工事監督業務の基本について」、工事監督のポイントや監督実施の留意事項、検査用チェックリスト、施工プロセスチェックリストなどに触れて概説。

引き続き、土谷氏が①植栽の基礎知識について解説。筑波都市整備(株)事業部次長・飯泉良則氏が②植物管理の基本と実践について、(社)日本造園建設業協会の「街路樹剪定ハンドブック」などを参考に解説を行った。

モデル工事現場で実習体験

現場研修は、土浦境線の街路樹管理業務（つくば市西平塚）をモデル工事として、街路樹剪定等の現場実習（剪定技術と実務）と、街路樹（イチョウ）の冬季剪定現場における現場実務体験を通した研修を行った。

講師は、樹木医で環境カウンセラー、街路樹剪定士指導員の川上副会長をはじめ、宮本県南支部長、街路樹剪定士指導員の井坂県南支部理事の 3 氏が務め、(株)オキヤマが作業者として協力した。

モデルとなった街路樹（イチョウ）の剪定については、実施前に沿道の住民の方々に、剪定についての説明を行ったことから紹介（図 1）。

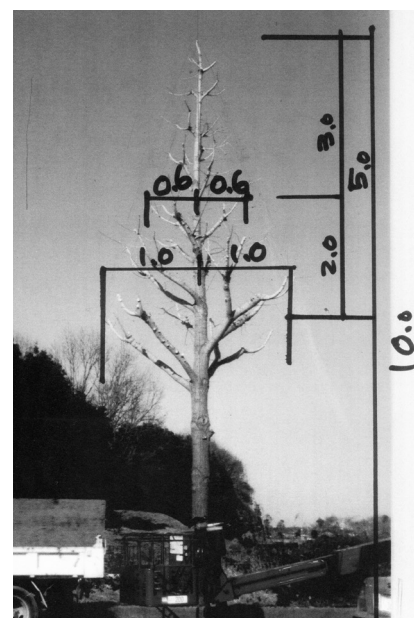
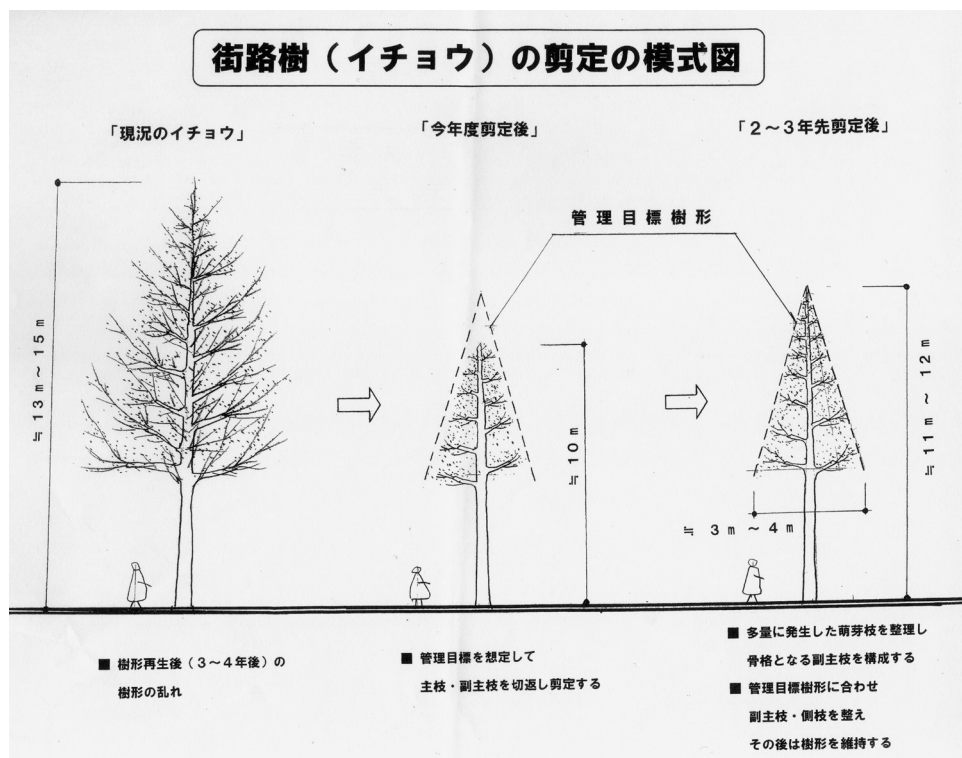
説明は、日頃の落葉処理などに対する感謝を示した後、何故剪定を行うのか？から説明されており、数年前に行った「樹形再生」後の成長で多くの萌芽枝（不

参加者は高所作業車の作業台での現場実務など、冬季剪定の実習も行った



枝の剪定位置などについての説明も行われた

要枝）が発生し、樹形の乱れが生じていることから、今後の維持管理や修景的にも好ましい樹形とするため、樹木を一定の高さ（管理目標樹形 H ≒ 12 m、W = 3 ~ 4 m）にしていくことが望ましいことを説明。



①作業員が感覚的に頭に入れておく管理目標樹形に向けての剪定位置
②沿道住民への説明などに使用された街路樹剪定の模式図

そして、何故この樹形にしたかについても、試験剪定を行い、街路空間の規模、土地利用、架空線の位置や歩道幅員、イチョウの植栽間隔から最も望ましいものとして導き出された数値であることを紹介。

さらに、今後の管理方法として、一旦、高さ 10 m で切り揃え、1 年後に切り口に不定芽が多く発生するので、2 年目にこれを整理し、2～3 年目以降に「枝抜き剪定・整枝剪定」を行い、各樹木の骨格となる樹形を整え、最終樹形として高さ約 12 m の円錐形の街路樹に仕立てることを目標としていることを明示。

初年度の剪定により、これまでとは違った樹形になるが、2～3 年待っていただくと、以前よりバランスのとれたコンパクトで美しい“つくばのイチョウ”に

生まれ変わることをアピール。協力を呼びかけた——ことなどを現場で紹介。

樹形再生の重要性についても解説

こうした樹形再生は、景観を美しくするだけでなく、高所作業車の使用は上部のみで、その他は木登りで剪定できることから、維持管理作業の効率化にも貢献。図 2 に示した数値は、最終的な管理目標樹形に導いていくことを念頭に置きながら、剪定する作業員が感覚的に頭に入れておくもので、この考え方を継続していくことではじめて、“つくばのイチョウ”が保全できると、継続的に行っていくことが不可欠であることを説明した。



架空線（電線）などにも考慮して、コンパクトで美しい街路樹を目指す“つくばのイチョウ”

平成21年度より指定管理者へ

(心より皆様のお越しをお待ちしております。)

茨城県 奥久慈憩いの森 (21年度～ 再指定)



※平成18～20年度 奥久慈憩いの森 モリモリフェスタの様様

奥久慈憩いの森 管理事務所 大子町大字高柴4164-3 電話 0295-76-0002
<http://www5.ocn.ne.jp/~ikoimori> E-mail ikoinomori@cello.ocn.ne.jp

茨城県 大洗公園 (21年度～ 指定)



大洗公園事務所 大洗町磯浜町8249 電話 029-219-5970
E-mail oarai-kouen@honey.ocn.ne.jp



茨城県造園業協同組合

理事長 飛田賢一 副理事長 川上一夫 庄司憲生
専務理事 稲見洋二 ほか 組合員一同

事務局 水戸市白梅2-4-6 電話029-302-7900 FAX 029-302-7901
E-mail ibazoukumi@honey.ocn.ne.jp

新春賀詞交歓会を開催 積極的取り組みを進める



茨造協の新春賀詞交歓会は1月19日、水戸市のテラスザガーデン水戸で開催され、川上副会長の開会の辞の後、廣瀬会長があいさつ。「橋本知事をはじめ、多くのご来賓の方々を迎え、新春を祝えることを嬉しく思う。協会は都市緑化を進める団体として発足以来37年という長い間にわたって、緑化を推し進めてこられたことは、県民皆様のご理解とご支援の賜物である。今後も地域の緑の保全、創出に尽力していきたい。緑を大切にすることは、これからますます重要であり、新年にあたり気持ちも新たに、積極的に取り組んでいきたい。また、協会の運営については、昨年12月に三法が改正されており、当協会は従来の公共性を保った方向で、これからの協会活動を行う方針だ。関係各位におかれては、今後ともご指導ご鞭撻をいただきたい」と述べた。

来賓からはまず、橋本昌知事が、「協会には、毎年、春と秋の都市緑化祭をはじめ、昨年には防災協定を結び、さらには指定管理者としても、ご尽力いただき感謝している。昨年は、北関東自動車道の栃木-茨城県区間が12月20日に全線開通し、大洗水族館をはじめ、茨城県を訪れる人がこれまで以上に増えることが見込まれる。こうした社会資本の整備を進め、これらを活用することで、これまで以上に元気な県にしていきたい。また、企業誘致にも積極的に取り組み、自動車業界が大変なご苦勞をされている中で、日野自動車が県内に移転することになり、大変ありがたく、こうした企業のお庭づくりは、皆さんのお仕事にもつながるなど、さまざまな波及効果が得られると思っている。そのほか、茨城空港の開港に合わせて、空港公園の計画も進められており、厳しい世の中ではあるが、これから素晴らしい世の中にするために、県をはじめ、市町村、県民の皆さんと協力していかなければならないと思っている」とあいさつ。

次いで、自由民主党茨城県支部連合会会長・山口武平氏が、「経済は生きものであり、悪くもなれば、良

くもなる。皆さんは素晴らしいお仕事をされているが、分離発注以前は土木と一緒に、大変なご苦勞があったと思う。こうした中で、協会は社団法人となるなど立派になったと思っている。近年は、これまでの造園事業に加え、自然環境の立場からの取り組みも増え、皆さんにいろいろなアイデアを出していただき、保全・創出に役立てたい。また、こうした事業は生活に密着しており、歴史に残っていくものでもある。好景気は皆でつくっていくものであり、この新年会をその大事なスタートとしたい」と述べた。

また、衆議院議員・梶山弘志氏は、「昨年は前半が石油、後半は世界同時不況と大変厳しい状況だが、国の喫緊の取り組みに環境対策が示されており、予算が4月からきっちり進められるよう取り組んでいる」。衆議院議員・葉梨康弘氏は、「日本には、皆さんをはじめ、世界に誇る技術や歴史がある。危機の時は、翻ってチャンスの時でもある。イギリスに公園が多いのは、スラム対策や環境対策からつくられたとされている。これからの土地政策にあたっては、皆さんと政策を摺合せながら、この不況から抜け出すことができるよう取り組みたい」とそれぞれあいさつ。

業界からは、(社)日本造園建設業協会会長・佐藤四郎氏が「環境問題は世界中でクローズアップされている問題であり、環境産業の一翼を担う我々は、その時代の主役として活躍していきたい」とあいさつした。

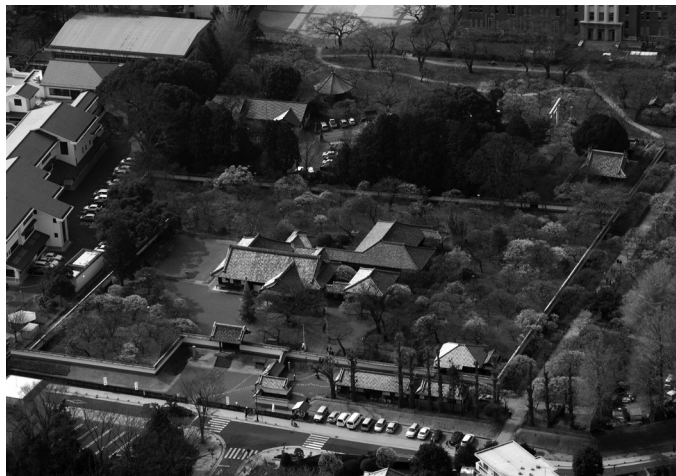
その後、来賓の紹介が行われ、猪瀬副会長が乾杯を発声、祝宴となり、飛田副会長の閉会の辞で散会となった。



新春賀詞交歓会のもよう

偕楽園・弘道館を視察研修

茨造協 県北支部 青年部会 三名園視察研修を実施



㊤弘道館の全景 ㊦偕楽園公園の全景。写真左手に続く千波公園を含めると都市公園で世界第2位の広さを誇る

県北支部青年部会（平根会長）は11月22日、水戸土木事務所の協力で、「偕楽園・弘道館」の視察研修をCPD講習会として行った。参加者は39人。

三名園視察研修は、平成18年の金沢兼六園から始まり、翌年は岡山・後楽園、香川・栗林公園を訪れ、今回締め括りとして、地元の名園でもある偕楽園・弘道館の歴史や公園維持管理の現状を学ぶ企画。

当日の講師には、水戸土木事務所都市整備課長・山中博氏をお迎えし、「茨造協の方々には、日頃から植栽の維持管理等にご協力いただき、これまでの視察研修においては兼六園や後楽園を見学され、弘道館・偕楽園が締め括りになるとのことで、今後の参考にしていただきたい」と挨拶。一行を案内してくださった。

魅力向上懇談会の動向に期待

「弘道館」は、約3万㎡の弘道館公園の敷地内にある建物で、国の特別史跡になっているほか、正庁、至善堂、正門の3カ所については、重要文化財に指定されている。当時の面積は、旧県庁舎、三の丸小学校まで含めた約18ha、藩校としては日本一の規模。

現在、敷地跡は弘道館公園として、ウメ60品種、700本が植えられており、ウメの名所となっている。

植栽については、ウメが主体で偕楽園を含め、六名木については、四ツ目垣の囲いを六角形にして、他の

ものとの区別、保護に役立てている。そのほかの樹種としては、マツが40本ある。また、園路がないため、不特定の人が自由に立ち入るので、踏圧の問題から、順路だけでも設けて、保全を図りたい。

そのほか、樹木が大きくなっているため、ある程度大きさを抑えていくかなど、保全活動がこれからの課題。ちょうど、偕楽園に関して、県の魅力向上懇談会が学識経験者を含めて15名程度で発足し、どうやって魅力を高めていくかについて、検討を行っていくこととなっているので、合わせて考えていきたい。

管理については、土地が財務省や神社庁のものであり、文化財になっているものもあるので、文化庁の許可と土地所有者の許可が両方必要。業務委託はプロポーザル方式で、技術提案型ということで、委員会で検討して、最終的に選定させていただいている。

入園者はピーク時の3分の1に減少

「偕楽園」は面積は約13haで、偕楽園を中心とする偕楽園公園は面積約63.8haで、隣接する千波公園や周辺緑地を含めると、総面積約300haで、ニューヨークのセントラルパークに次ぐ世界第2位の広さ。

偕楽園は、斉昭が藩主になって、水戸に来た1833年に計画され、1841年に着手、翌年開園。園内には現在、約100品種、3000本のウメがあり、早春には

多くの観梅客で賑わう。庭園の形式としては、借景型庭園と 縮景型庭園と二つの考え方があり、議論の分かれているところだ。

表門から好文亭へは、一の木戸をくぐり、孟宗竹林にそって迂回するように進む。周囲のスギ林とこの竹林の管理には特に気を遣っており、竹林は、上手く間引きをしていくのが難しいところ。

偕楽園自体は無料で入園できるので、正確な入園者数は分からないが、ピーク時の 300 万人から 100 万人に減少している。好文亭は有料なので正確に把握でき、年間入場者は 19 万人で、2 月 3 月の入場者が 6 割占め、観梅の時期に集中していることが分かる。また、入場料は県の他の収入として、一緒になるので、独立採算で管理を行っているものではない。

大きくなり過ぎた植物対策が課題

植栽については、弘道館と同様に樹形が大きくなり過ぎているのでどうやって詰めていくかが課題。余り詰め過ぎると枯れてしまうので、慎重に考えている。

また、創設当時の資料と比べると、置き石の場所も違うので、これについても移動などを検討している。

偕楽園公園は、平成 5 年に緑化フェアがあったときに整備したもので、一部まだ供用開始していない区域があるが 8 割方整備が終了している。

「東西梅林」だけでも、ウメが 1650 本あり、老木については 1 割弱程度現存する。こちら弘道館と同じくプロポーザルで実施し、より良い管理をしていかなければならないと考えている。

そのほか、ウメだけでなく、見所は数多く、「もみじ谷」などは、かつては園路もなく、穴場スポットだ



上から「もみじ谷」、好文亭からの眺望、表門から好文亭までの園路、説明を受ける参加者



大きくなり過ぎた樹株や置石の位置などの対策が今後の課題

ったが、今はいろいろなところで紹介されている。

山中課長は最後に、「これらの維持管理は、13 工区に分けて実施されており、約 3 億円が掛かっている。県の単独費で、財政も厳しくなり、年々減少してきている。こうした中、より質の高い管理をして、県内外の人によりより良く利用していただけるようにしていかなければならない。茨造協の皆さんにも今後ともご協力いただきたい」と協力を呼びかけた。



社会還元事業 県西支部で実施

桜川市の「上の原学園」でクスノキの高木などを剪定

茨造協の恒例となった社会還元（ボランティア）事業は、今回3月3日に実施され、桜川市上野原地新田の知的障害児施設「上の原学園」にて行われた。

作業は、県西支部（山口支部長）の16名によって行われ、校舎前のロータリー内で、クスノキ、アカマツ、キンモクセイ、サクラ、雑木などを対象に、「低木類は自分たちで剪定を行いました、高木はできないため、ボランティアを希望しました」と応募にあったように、高木樹木剪定枝下ろしなどを行った。

社会還元事業は、造園建設業の啓発、広報を目的として、社会福祉施設等の植栽・立木に係る剪定などをボランティアで行って、環境管理に寄与しているもの。

平成14年の茨造協創立30周年を記念してスタート以後、継続事業として続けている。



㊤ すっきり整ったロータリー内の樹木



㊤ 脚立や高所作業車を用いた剪定のようなす



作業前のようす

平成 21 年度 春季都市緑化祭 開催へ

重点実施公園は、砂沼広域公園と鹿島灘海浜公園に

平成 21 年度春季都市緑化祭が今年も県内の都市公園を会場に行われ、茨造協も各種催事に協力、市民参加の花壇づくりや剪定教室などを実施する。

「都市緑化推進運動期間」の 4 月 1 日から 6 月 30 日は、「花と緑のまちづくり」をテーマに、都市における緑の保全、創出、活用を市民の参加、協力のもとに推進するため、「みどりの日」、「みどりの週間」行事の実施、全国都市緑化フェアの実施、有料公園の無料開放、普及啓発活動の実施など、全国で多彩な催事が行われる。

茨城県では、平成 14 年度に都市緑化事業を総合的かつ効果的に行っていく方策を検討するために設置された「都市緑化フォーラム」においての意見を受けて、平成 15 年度から県内都市緑化祭のモデルとなる取り組みを試行していく公園を指定し、事業の重点化を推進するとともに、予算の重点配分が行われてきた。

平成 21 年度の重点実施公園は、砂沼広域公園と鹿島灘海浜公園となっており、そのほか、以下の公園を中心にさまざまな催しが行われる。

4 月 25 日(土) 4 月 26 日(日) 洞峰公園

山野草展示、緑化教室、みんなの花壇、この木なんの木？、クラフトコーナー、リサイクル堆肥配布、芋煮会ほか

4 月 26 日(日) 砂沼広域公園

草花等の無料配布、ガーデニング教室、竹鉢づくり体験教室、緑化相談ほか

4 月 29 日(水) 偕楽園公園（千波公園）

花苗等の無料配布、市民参加の花壇づくり、こけ玉づくり、フラワーアレンジメント、球根つかみどり、植木競市ほか

5 月 2 日(土) 鹿島灘海浜公園

竹細工の作成配布、バーク堆肥無料配布、植木市、生垣作り体験コーナー、緑化相談コーナー、無料配布コーナーほか

5 月 3 日(日) 県西総合公園

チャレンジガーデニング、竹細工による鉢植え作り、緑化相談、無料配布、竹細工、フリーマーケットほか

5 月 4 日(月) ひたち海浜公園

チャレンジ・ザ・ガーデニング、緑化相談コーナー、無料配布

5 月 17 日(日) 港公園

花の無料配布、みんなの花壇づくり、体験コーナー、植木市、肥料の無料配布ほか

5 月 24 日(日) 笠間芸術の森公園

インテリアグリーン教室、庭木の剪定教室、無料配布ほか



昨秋行われた緑化祭のもよう

「造園CPD」ガイドブックと単位表を改訂 CPD参加はこの時期に！

茨造協では、昨年から造園CPD（継続教育）に積極的に取り組むこととし、すでに3つの研修会などについて、研修の日時、内容などを事前に申請し、認定プログラムとして実施している。

造園CPDは、日々自らの技術向上や知識の幅を広げる努力（継続教育）を第三者として、(社)日本造園学会が記録を保管し、実施記録を発行するもので、自らの努力目標とするほか、外部からの技術者の信頼性確認や、雇用する企業の客観的評価にも利用されるなど、年々広がりを見せている。

造園CPDに参加するには、造園CPDの会員になる必要があり、会員には3つの種類がある。

「会員1」は、造園CPD会員としての個人負担額は0円で、園芸文化協会、一造会（全国一級造園施工管理技士の会）、東京農業大学緑友会、都市緑化技術開発機構、日本公園緑地協会、日本造園学会、日本庭園協会の個人会員。例えば一造会（info@icz.jp）の場合、一造会に入会すると、CPD会員に自動的に申請、カードが送付される。

「会員2」は、造園CPD会員としての個人負担額は年1,500円で、園芸文化協会、自然環境共生技術協会、都市緑化基金、都市緑化技術開発機構、日本植木協会、日本公園施設業協会、日本公園緑地協会、日本水景協会、日本造園組合連合会、日本造園建設業協会、日本造園修景協会、日本庭園協会、日本緑化センター、ランドスケープコンサルタンツ協会、公園緑地管理財団、海洋博覧会記念公園管理財団、国際花と緑の博覧会記念協会の会員企業等に所属し、所属団体を通じて入会申請後、Web上で会員登録することにより会員になることができる。

「会員3」は、造園CPD会員としての個人負担額は年2,500円で、造園CPD事務局に入会申請後、Web上で会員登録することにより会員になることができる（随時受付）。

「会員1」「会員2」は、それぞれの団体に加入しているメリットも活かしながら、造園CPDにも参加できる会員といえるが、この会員種別での登録は、毎年春と秋の年2回で、それ以外の時期に参加する場合は、随時受付を行っている「会員3」にて、個人会員として登録する必要がある（その後、取得単位を活かしたまま会員1、2に変更することも可能）。

そのため、会員になるなら、今の時期がお勧めで、「会員1」「会員2」団体の事務局への新年度会員提出期限が5月末のため、5月中旬頃までに入会すると、CPD会員にタイミングよく参加できるといえる。

ちょうどこの4月1日、日本造園学会が、造園CPDガイドブックを改訂、第4版を発行するとともに、単位表を改正、適用を開始する。

造園CPD制度は、本格実施から5年目を迎え、平成20年度末のCPD会員数は1万238人となり、認定プログラムも年々増加し、平成20年度は584プログラム、3414単位分が実施されている。

今回のガイドブックや単位表の改訂は、造園CPD制度の一層の充実を図るため、より現状に即したものとするため、見直しを進めていたもので、ガイドブックでは、CPDの経緯や趣旨などを示した前文や近年の動向として2006年以降の動きを追加をはじめ、「プログラムの認定の受け方」「実施の手順」を実態に合わせ解説、「実施記録証明書」の取得方法が確定したことに合わせた修正を行った。

また、造園CPD教育形態（単位）表については、①認定プログラム以外の講習会等、建設系CPD協議会構成団体の認定プログラムの位置づけ整理・統廃合、②ポスター発表のコアタイムの扱いを明確化、③対象とするコンペ、コンクール等の明確化・整理・修正・統廃合、④企業内研修の単位数を引下げ、⑤講師に関する単位数の引き下げや上限設定、⑥社内研修会の講師の単位数の上限引上げ、⑦講師補助に関する単位を新設、⑧技術指導に関する単位を新設、⑨著述、作品発表等への指導・監修に関する単位を新設、⑩インターンシップの受け入れに関する単位を新設、⑪表記の修正、対象の明確化の補足説明、例示の追加修正を行っている。

詳細は、造園CPD協議会WEB（<http://www.lacpd.jp/>）に紹介されている。Webなどでの手続きが面倒と思う人も多いと思われるが、今後広く普及し、発注要件などにも盛り込まれていくであろう「造園CPD」。そのときになってから慌てて“ポイントをためる”のは難しいので、今から造園CPDに参加し、これまでも何気なく読んでいた関連図書、いつも普通に参加している研修会等を記録することで、“ポイントをためておく”と、知らない間に「こんなにっ！」と嬉しい結果になるかもしれない。

「造園CPD」をはじめ、「会員1」「会員2」に関わる団体の会員になって、交流の幅を広げてみるきっかけにするにもいい機会と言えよう。

社 団 法 人 茨 城 県 造 園 建 設 業 協 会 会 員 名 簿

<県北支部>			支部長 猪瀬 清次		
(有)会沢造園	水戸市渡里町 2526	029-225-0067	(有)藤和造園土木	神栖市矢田部 3332	0479-48-0468
(株)市毛造園	ひたちなか市馬渡 1285-5	029-272-1334	(株)富山園建設	鹿嶋市大船津 2223	0299-82-0516
岩倉緑化産業(株)	笠間市福原字トウガ峰 800-3	0296-74-4468	常陸緑化土木(株)	鹿嶋市大字須賀 442	0299-82-4128
(株)植幸	水戸市栗崎町 1682	029-240-5008	日比谷殖産(株)	鹿嶋市武井釜 793-1	0299-69-1762
(株)植正園	水戸市常磐町 1-1-40	029-224-8766	(株)ミドリヤ	鉾田市大蔵 233-5	0291-39-6088
(株)海野ガーデン	ひたちなか市中根 5072	029-273-6013	山中造園土木(株)	神栖市筒井 1373-1	0299-92-0251
(有)エバタ造園	水戸市上国井町 1594	029-239-6322	豊造園(株)	神栖市筒井 1213	0299-92-2566
(株)大平造園土木	笠間市鯉淵 6241-42	0296-77-3021	(株)和鹿公園建設	神栖市太田 456-15	0479-46-0033
(株)神永造園	ひたちなか市足崎 1287	029-285-0246	<県南支部>		
(株)嶋志田造園建設	水戸市青柳町 3814-2	029-225-6052	支部長 宮本 和雄	つくば市作谷 2715	029-869-1118(代)
(有)川崎造園	ひたちなか市田彦 632-1	029-272-0571	(株)浅野造園土木	つくば市篠崎 231-1	029-864-0825
環境保全事業(株)	那珂郡東海村村松 1033-1	029-282-8855	(有)荒井緑化土木	つくば市上里 390	029-847-0662
興和緑地建設(株)	水戸市白梅 1-3-23 興和ビル	029-225-6187	(株)飯塚農園土木	つくば市今鹿島 103	029-847-2554
(株)小澤造園	水戸市水上戸 1-4-38	029-224-7733	(株)市川造園建設	土浦市田中 3-2-1	029-822-3771
(株)小林造園	水戸市小吹町 2054-2	029-241-7587	茨城県南造園土木(業)	取手市桑原 597	0297-73-2231
(有)小林農園	日立市折笠町 719	0294-43-5193	(株)茨城光松園	つくば市片田 343	029-837-1603(代)
(株)三陽造園土木	東茨城郡城里町小勝 718-2	0296-70-6061	(株)浮間興業	土浦市乙戸南 3-8-13	029-830-4300
(株)信濃造園土木	ひたちなか市西大島 1-1-30	029-273-2756	オガ建設(株)	つくば市要 109	029-864-0444
(有)十文字造園	ひたちなか市佐和 1468	029-285-0879	(株)オキヤマ	つくば市谷田部 3524-2	029-837-0222
(株)松風園	ひたちなか市長砂 625-2	029-285-3210	(株)貝沢造園土木	つくばみらい市小張 4041	0297-58-6518
昭和造園土木(株)	笠間市笠間 4358-2	0296-72-5104	(株)川上農場	取手市桑原 1104	0297-73-3241
(有)植心園	那珂市本米崎 2702	029-298-1498	(株)小久保造園土木	つくば市小田 2830	029-867-3399
(有)鈴木グリーン企画	水戸市小吹町 1555-9	029-244-2700	(有)古平園	つくば市蓮沼 10	029-864-0777
(有)鈴木緑化サービス	水戸市萱場町 747-2	029-253-3910	小林造園土木(有)	石岡市小幡 295-1	0299-42-3313
(株)砂押園芸	ひたちなか市高野 48	029-285-0233	(株)坂田園芸	土浦市上坂田 610	029-862-2431
(有)成樹園	水戸市平須町 1846	029-241-0238	佐藤造園土木(有)	つくば市南中妻 750	029-836-0225
(株)石翠園	水戸市平須町 2-97	029-241-0404	(株)芝良	つくば市作谷 3438-7	029-869-0311
(株)千本杉	那珂市菅谷 605-21	029-298-0575	スズキ造園土木(株)	つくば市寺具 1011-1	029-869-0500
(株)大京園	水戸市姫子 1-41-1	029-253-0615	第一造園土木(株)	土浦市大岩田 534	029-821-3708(代)
(株)大子造園土木	久慈郡大子町矢田 910-1	0295-72-0001	大成造園土木(株)	土浦市西並木 3600	029-822-2311
(株)高砂造園	水戸市堀町 2303	029-251-9157	(株)千代田	かすみがうら市横堀 287	0299-59-4068
(有)立原緑地土木	水戸市飯島町 554	029-251-5081	つくば都市緑化(株)	つくば市下別府 489-81	029-847-6439
(株)田寺緑地土木	水戸市吉沼町 965	029-227-3388	土浦造園(株)	土浦市佐野子 1061-1	029-821-3585(代)
(株)田中造園土木	笠間市箱田 1167-1	0296-72-1027	遠野緑地建設(株)	つくば市東光台 1-19-4	029-847-5282
(株)タナカ築庭	水戸市石川町 2-4074-8	029-253-4128	常盤造園建設(株)	取手市駒場 4-5-22	0297-73-0551
常磐造園(株)	水戸市酒門町 3218-1	029-248-0081	(株)トヨシマ総合建設	つくば市上横場 2157-1	029-836-5959
(株)都市緑地サービス	ひたちなか市中根 3646-6	029-273-7662	(株)直井造園土木	つくばみらい市日川 571	0297-52-2600
(株)中庭造園土木	那珂市横堀 660	029-298-3291	(株)野堀造園土木	つくば市遠東 254-1	029-847-3678
(株)日本造園	水戸市見川 5-1251-63	029-229-8840	橋本造園土木(株)	つくば市大角豆 2012-36	029-851-2547
(株)沼田緑化園	水戸市笠原町 1691-2	029-243-0123	ヒタチ緑化(株)	つくばみらい市市戸 103	0297-52-3251
(株)橋本農園	那珂郡東海村豊岡 466	029-282-2388	不二造園土木(株)	土浦市佐野子 655	029-821-5438
(資) 幡弁商店緑化部	小美玉市小川 1488	0299-58-2002(代)	(有)モリタグリーン工業	牛久市牛久町 3318-8	029-872-0336
飛竜造園(株)	那珂市堤 302	029-298-7945	吉沼造園土木(株)	つくば市吉沼 2000	029-865-0177
(株)水庭農園	日立市本宮町 5-8-6	0294-24-3228	緑化植産(株)	つくば市若栗 913	029-876-0606
(株)水戸グリーンサービス	水戸市堀町 959	029-225-2754	(株)若倉	つくば市島名 652	029-847-7397
水戸緑地建設(株)	水戸市元吉田町 1852-86	029-248-8700	<県西支部>		
(株)宮嶋造園土木	東茨城郡茨城町小幡 68-56	029-292-5787	支部長 山口 喜弘	下妻市半谷 430-42	0296-44-5296
(有)望月造園	東茨城郡茨城町駒場 1802	029-292-2752	(有)アイタ	筑西市小川 1724-1	0296-28-0008
(有)山喜園	高萩市下手綱 1485	0293-23-6935	(有)飯村造園土木	筑西市新治 2003-88	0296-57-2045
(株)吉沢緑化造園	日立市水木町 2-21-12	0294-52-0712	稲芝造園建設(株)	坂東市大口 2052-1	0297-39-2547
緑地企画(株)	水戸市平須町字原山 158-187	029-243-7700	(株)岩井造園土木	古河市東山田 1924	0280-78-1312
(株)緑建	水戸市堀町 112-3	029-254-8441	(株)川上造園土木	下妻市五箇 201	0296-43-4622
(株)和香園	ひたちなか市佐和 1735	029-285-0306	(有)小竹農園	筑西市玉戸 1013-39	0296-28-0069
<鹿行支部>			常緑工業(株)	常総市中妻町 5192	0297-22-7106
安藤造園(株)	神栖市矢田部 5806	0479-48-0059	(株)成美造園	常総市豊岡町乙 1234-18	0297-27-2281
(株)大賀志造園土木	神栖市石神 439	0299-92-1695	(株)関城造園	筑西市関本肥土 362	0296-37-3195
大塚造園建設(株)	神栖市筒井 1262-2	0299-92-0530	塚田造園建設(株)	桜川市真壁町源法寺 704	0296-55-1587
大根造園土木	神栖市土合西 2-1-8	0479-48-3678	つくばクリーン産業(株)	下妻市北大宝 257-1	0296-44-2004
(株)鹿島ガーデン	鹿嶋市宮中 6-6-9	0299-83-3111(代)	中嶋産業(株)	結城市小田林 1424	0296-32-8282(代)
鹿島花壇土木(株)	神栖市柳川 1707	0479-46-0044	(有)中田造園	下妻市北大宝 460-2	0296-44-5432
鹿島庭園(株)	鹿嶋市宮中 1992-1	0299-82-2045	(有)中山造園土木	坂東市辺田 955	0297-35-0644
(株)水郷園建設	行方市四鹿 207-1	0299-73-2006	山口造園(株)	筑西市倉持 629	0296-52-2350
(株)辻田造園建設	鹿嶋市下塙 886-3	0299-82-9097	(有)吉原グリーン	下妻市高道祖 2635	0296-43-7122
			(株)ワイエスケイ	筑西市乙 836	0296-25-0005